

令和 3 年度「図書館情報入門」シナリオ

学習の流れ	内容	時間
導入	1. 本講義の目標、意義 2. T・A の文献収集体験談	10 分
講義 (検索演習 含む)	1. 良いレポートとは <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の生産と流通 ・ 情報媒体と信頼性 2. 課題解決のための情報・文献の入手 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑誌記事・論文の探し方 (CiNii Articles) ・ 北大にある図書・雑誌の探し方 (北大附属図書館 Online Catalog) 	25 分
振り返り 実習	1. 論文検索 (CiNii Articles) ※講義に関連のあるテーマを指定します。 2. 北大蔵書検索 ※演習中に北図書館へ移動し、実際に図書を入手します。	45 分
まとめ	1. 振り返り実習のまとめ 2. 文献収集に関する図書館サービスの紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館 Web サービス ・ リモートアクセスサービス (キャンパス外からの電子ジャーナル等の利用) ・ 参考調査サービス 	10 分

※標準的な内容です (オンライン、対面共通)。

オンラインまたは対面にて実施します。裏面の詳細をご確認の上、ご希望の実施方法をお選びください。

- オンラインで実施する場合

- オンデマンド教材をご用意します。お申込みいただいた先生には、準備が出来次第 URL を案内します。授業のご都合に合わせて、学生へ受講をご指示ください。

＜参考＞令和 2 年度教材の例

https://www.lib.hokudai.ac.jp/learning_and_teaching/teaching_support/custom-made/freshman_guidance/r2/r2-online/

- 基本的な内容は対面で実施する際に使用するスライドと同等ですが、T・A の文献収集体験談、北図書館へ移動しての図書の入手など、オンラインでの実施が不可能な一部の内容については割愛したものとなります。
- 講義ごとにスライドをご用意することが難しいため、振り返り実習の論文検索テーマについては、全講義共通といたします。もし検索させたいテーマがございましたら、先生においてご用意いただき、学生へ読み替えをご指示ください。
- 教材の提供は、4月19日（月）より開始します。

- 対面で実施する場合

- 第 1 学期については、「令和 3 年度第 1 学期における全学教育科目の授業実施方針について」（以下、授業実施方針）に従い、感染対策の上で実施します。第 2 学期については、今後発出される、授業方針と同等の方針に従います。

- 図書館情報入門の対面実施を希望される場合においても、通常の対面授業と同様に、授業実施方針に記載の通り、対面授業または対面授業とオンライン授業を併用で実施するものとして、あらかじめ全学教育部長への届け出やシラバスへの記載等の対応を行ってください。

1月29日締切の授業実施方法の連絡（令和 3 年 1 月 13 日付授業実施方針 2(1)）にて、「全ての授業をオンラインのみで実施」と回答している場合は、先生ご自身にて、授業実施方法の変更対応を行ってください。

- 収容定員の都合上、教室の確保が例年よりも難しくなることが予想されます。教室が確保できない場合は、内容の一部変更、オンラインでの実施への切り替えなど、対応を個別にご相談させていただきます。
- 行動指針レベルの変更または全学教育部長の判断等により、対面授業が実施できない場合には、オンラインでの実施に変更させていただきます。
- ご希望に応じて、内容のカスタマイズを承ります。ご希望の場合は、事前の打ち合わせをお願いいたします。

＜カスタマイズ例＞

- ◇ 通常より短い時間で実施（事前にオンデマンド教材による予習を課し、講義時間の半分（45 分）に短縮する等）。
- ◇ 北図書館内の学習スペースの紹介を追加。
- ◇ 講義課題に即したツールを紹介・演習（新聞記事、統計等）。
- 対面授業と同様に、5月7日（金）より開始します。